

犬猫の「停留精巢」と 精巢腫瘍の関連性

執筆者・岡谷動物病院 佐々木厚さん

◆犬の停留精巢

発生率

犬の精巣腫瘍は未去勢の雄犬であれば2番目に多く発生する腫瘍です。種類は「セルトリ細胞腫」「間質細胞腫」「精上皮腫」の三つがほとんどを占めています。

好発犬種

ド、アフガンハウンド、シエラテ、チワワです。

挙動

精巣腫瘍は潜在的に悪性の腫瘍です。精巣が陰のう内に存在する通常の犬でも、去勢手術をしていない場合、片側もしくは両側が大きく腫瘍化する可能性は27%あります。

危険因子

停留精巢とは出生時に陰のうに睾丸(こうがん)が2個降りていない状態であり、ヘニスの横や鼠蹊部(そけいぶ)もの付け根、そして腹腔(ふくろ)内に精巣が存在しています。精巣を下降させる薬物や方法がある、ちまたではいわれることがありますが、そのような方法や薬物は100%存在しません。停留精巢の場合、正

病になり治らない、左右対称の脱毛などが起きます。すなわち、この病は皮膚病のテストにも載っているように慢性の皮膚病を引き起こし、原因が究明されないまま皮膚病の治療が漫然と行われることが多いという事実です。



来院することが多いという点が極めて重要です。

また、「高テストステロン血症」では男性ホルモン(雄)の過剰分泌が起き、雄の行動が強く起きたり、テストステロン関連の病気である前立腺疾患や肛門周囲腺腫、エストロゲン類似作用による雌性化症候群が起ることもあります。これは間質細胞腫で見られる症状です。

症状

◆性ホルモン過剰分泌(腫瘍随伴症候群)

精巣腫瘍の注意点は「転移」。「精巣を超えて陰のうや皮膚まで拡大し広がついていく悪性」と、「腫瘍随伴症候群」と呼ばれる腫瘍によってさまざまな特異的な別の深刻な症状が起り、時には腫瘍ではな腫瘍随伴症候群で命を落とすこともあることです。特にエストロゲンという性ホルモン(雌)の過剰分泌によって二つの病気が引き起こされるのが最も重大な特徴です。一つは「雌性化症候群」もう一つは「骨髄毒性」です。

結論

精巣腫瘍はよく遭遇する割に獣医師からも薬観視されがちな腫瘍です。多くの巨大化したセルトリ細胞腫が停留精巢として腹腔内で

◆猫の停留精巢

猫にも停留精巢は発生します。ただ精巣腫瘍はまれだと報告されています。しかし、ネコ科の野生動物に精巣腫瘍がより多く発生し

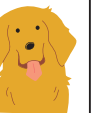
最後に

ワクチン、フィラリア予防時や購入した時に、雄雌を獣医師に区別してもらうだけではなく、陰のうに二つ睾丸が存在するかを含め



41

このコーナーへのご意見、ご感想をお寄せ下さい！
ご意見、ご感想、岡谷動物病院の佐々木先生に聞いてみたいことなどをお寄せ下さい。住所、名前、電話番号を明記し、郵送(〒394-0028岡谷市本町3の8の30)、ファクス(0266-22-4444)、Eメール(mail@shimin.co.jp)のいずれかで、市民新聞グループ編集局「見る」係へお送りください。



バックナンバーは岡谷動物病院ホームページでご覧いただけます。